

<第6章 調査票〔単純集計結果〕>

第6章 調査票〔単純集計結果〕

最初に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

以下のQ. 1からQ. 10までは、本調査でいただいた回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いが見られるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

Q. 1 性別（1つだけ○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	男性	765	45.8%
2	女性	903	54.0%
3	その他	1	0.1%
	無回答	2	0.1%

Q. 2 年代（1つだけ○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	10歳代	20	1.2%
2	20歳代	116	6.9%
3	30歳代	176	10.5%
4	40歳代	341	20.4%
5	50歳代	376	22.5%
6	60歳代	388	23.2%
7	70歳以上	252	15.1%
	無回答	2	0.1%

Q. 3 職業（従事する時間が長いものに1つだけ○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林業	103	6.2%
2	漁業	9	0.5%
3	商工サービス業自営	87	5.2%
4	事務職	238	14.2%
5	技術職	251	15.0%
6	労務職	212	12.7%
7	管理職	87	5.2%
8	自由業	30	1.8%
9	主婦・主夫	171	10.2%
10	学生	43	2.6%
11	無職	271	16.2%
12	その他	161	9.6%
	無回答	8	0.5%

Q. 4 あなたの属性（1つだけ○印）

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	世帯主	788	47.2%
2	世帯主ではない（世帯員）	879	52.6%
	無回答	4	0.2%

Q. 5 婚姻状況（1つだけ○印）

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	未婚	426	25.5%
2	既婚	1,051	62.9%
3	その他（離別、死別を含む）	187	11.2%
	無回答	7	0.4%

Q. 6 子どもの状況（同居・別居に関わらずお答えください。）

(当てはまるものに1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	就学前の子どもがいる	93	5.6%
2	小・中学生の子どもがいる	163	9.8%
3	高校生の子がいる	73	4.4%
4	大学生、専門学校生等の子どもがいる	84	5.0%
5	子どもは成人している（「3～4」を除く）	691	41.4%
6	その他	31	1.9%
7	子どもはいない	525	31.4%
	無回答	11	0.7%

Q. 7 世帯の年間収入（税込み）（1つだけ○印）

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	0～100万円未満	132	7.9%
2	100～200万円未満	177	10.6%
3	200～300万円未満	331	19.8%
4	300～400万円未満	242	14.5%
5	400～600万円未満	344	20.6%
6	600～800万円未満	208	12.4%
7	800～1,000万円未満	112	6.7%
8	1,000万円以上	81	4.8%
	無回答	44	2.6%

Q. 8 お住まいの状況（1つだけ○印）

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	持家	1,395	83.5%
2	借家	259	15.5%
	無回答	17	1.0%

Q. 9 お住まいの場所（広域市町村圏）（1つだけ○印）

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	高知市	798	47.8%
2	安芸広域圏	103	6.2%
3	南国・香美広域圏	237	14.2%
4	嶺北広域圏	34	2.0%
5	仁淀川広域圏	133	8.0%
6	高吾北広域圏	54	3.2%
7	高幡広域圏	112	6.7%
8	幡多広域圏	191	11.4%
	無回答	9	0.5%

Q. 10 お住まいの地域（沿岸部・非沿岸部）（1つだけ○印）

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	沿岸部	444	26.6%
2	非沿岸部	1,216	72.8%
	無回答	11	0.7%

※ お住まいの地域が沿岸部かどうかの判断に迷う場合は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5km（または車で約10分）を目安にしてください。

1. 県の基本政策について

高知県では、現在、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、5つの基本政策に基づいた取り組みを進めるとともに、それらの政策に横断的にかかわる3つの政策に取り組んでいます。

【5つの基本政策】

①経済の活性化

(農業、林業、水産業、商工業、観光の各分野や、デジタル化・グリーン化・グローバル化の促進、外商活動の全国展開、担い手の育成・確保など産業振興計画の取り組み)

②日本一の健康長寿県づくり

(健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進、地域で支え合う医療・介護・福祉サービス提供体制の確立とネットワークの強化、子どもたちを守り育てる環境づくり)

③教育の充実と子育て支援

(知・徳・体の調和のとれた子どもたちの育成、多様な子どもたちへの支援の充実、デジタル社会に向けた教育の推進など)

④南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

(地震発生直後の命を守る対策、助かった命をつなぐための応急期の対策、早期の復旧・復興に向けた生活を立ち上げる対策など)

⑤インフラの充実と有効活用

(県民の安全・安心につながる道路、河川、港湾などの整備、公共交通機関の維持確保など)

【5つの基本政策に横断的にかかわる3つの政策】

⑥中山間対策の充実・強化

(集落活動センターの普及・拡大、担い手の確保・育成、生活用品・移動手段の確保、鳥獣被害対策など)

⑦少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大

(出会い・結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策、就職や起業に向けた支援など)

⑧文化芸術とスポーツの振興

(文化芸術を鑑賞できる機会の充実・発表する機会の拡充、文化芸術活動を支える人材の育成、スポーツ参加の拡大、競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりなど)

県の進めている8つの基本的な政策について、以下それぞれお伺いします。

問1 「経済の活性化」について、第4期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林漁業の生産地の強化	624	37.3%
2	加工食品や機械などのものづくり産業の振興	212	12.7%
3	観光の振興	453	27.1%
4	県産品等の地産外商の促進（外商活動の全国展開、グローバル化に対応した輸出のさらなる拡大）	339	20.3%
5	県外からの移住の促進	295	17.7%
6	起業や新たな事業展開を志す方への支援	263	15.7%
7	産業の担い手の育成・確保	602	36.0%
8	各産業分野におけるデジタル化の促進	117	7.0%
9	関西圏との経済連携の強化	101	6.0%
10	SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた事業活動の促進	156	9.3%
11	防災関連産業、IT・コンテンツ関連産業、グリーン化関連産業 ^{※1} など新たな産業の創出	251	15.0%
12	県内事業者の経営基盤の強化（事業戦略の策定・実行への支援、金融支援）	363	21.7%
13	企業の誘致	324	19.4%
14	地域の商店街等の活性化	370	22.1%
15	産学官民連携によるイノベーションの創出 ^{※2}	146	8.7%
16	その他	35	2.1%
	無回答	15	0.9%

※1 脱炭素化につながる新たな製品、サービスの開発等の支援や、自然・体験型の観光等を推進。

※2 新たな時代の経済成長の原動力となる「デジタル化」、「グリーン化」、「グローバル化」といった視点から、農業、林業、水産業、商工業など各分野の取り組みを強化することに加え、県内外から多くの人材や知恵、資本などを呼び込むことで、産学官民が連携した新たなイノベーションを創出。

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第4期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	生涯にわたる健康的な生活習慣の定着	491	29.4%
2	がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策の推進	299	17.9%
3	在宅医療・介護の推進	494	29.6%
4	高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり※ ¹	563	33.7%
5	地域共生社会の実現に向けた市町村の包括的な支援体制の整備の推進※ ²	385	23.0%
6	障害のある方の自立を促し、安心して生活のできる地域づくり	173	10.4%
7	救急医療体制の強化	394	23.6%
8	医師等の地域偏在の是正	297	17.8%
9	介護などのサービス提供を担う人材の安定確保	535	32.0%
10	妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的な支援	453	27.1%
11	厳しい環境にある子どもたちへの支援	386	23.1%
12	デジタル化の推進（オンライン診療の推進やICTを活用した高齢者の見守り体制の整備など）	190	11.4%
13	その他	31	1.9%
	無回答	9	0.5%

※1 介護予防や生活支援サービスの充実・強化など、高齢者がいつまでも元気に安心して日々を暮らせる対策。

※2 80代の高齢者が50代のひきこもりなどの方を支える8050問題やヤングケアラーなどの複雑化・複合化した課題への対応として、断らない相談窓口の整備や多機関協働の支援会議の設置、孤立をふせぐ地域づくりなどを一体的に整備する施策。

問3 「教育の充実と子育て支援」について、第2期教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	学力向上に向けた学校の組織力の強化 ^{※1}	580	34.7%
2	道徳教育の推進	454	27.2%
3	運動能力の向上、運動習慣の確立	257	15.4%
4	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	448	26.8%
5	発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実	300	18.0%
6	貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実 ^{※2}	495	29.6%
7	いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実	663	39.7%
8	パソコンやタブレット等を活用した教育の推進	268	16.0%
9	地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進	284	17.0%
10	就学前の教育・保育の充実	180	10.8%
11	生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進	351	21.0%
12	学校における働き方改革の推進 ^{※3}	343	20.5%
13	その他	42	2.5%
	無回答	10	0.6%

※1 教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことにより組織的に授業力の向上などを図る。

※2 家庭の経済状況と子どもの学力等には相関関係があり、貧困の世代間連鎖が危惧される状況であることから、保護者の子育て力の向上や放課後等における学習の場の充実などを図る。

※3 教員が子どもと向き合う時間を確保し、限られた時間の中で最大の教育効果を発揮できるよう、市町村教育委員会や学校等と連携し、業務の効率化・削減や外部人材の活用などを図る。

問4 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第4期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	住宅の耐震化の強化	397	23.8%
2	津波からの避難場所や避難路の整備	496	29.7%
3	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	307	18.4%
4	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	697	41.7%
5	人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	352	21.1%
6	前方展開型による医療救護体制の推進 ^{※1}	209	12.5%
7	防災教育の強化	209	12.5%
8	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	337	20.2%
9	地震火災・津波火災対策の推進	134	8.0%
10	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	277	16.6%
11	南海トラフ地震臨時情報 ^{※2} が発表された場合に備えた対策の推進	163	9.8%
12	自主防災組織など人のつながりの強化	250	15.0%
13	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	254	15.2%
14	住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策	576	34.5%
	無回答	33	2.0%

※1 負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくりを強化していくこと。

※2 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報。

問5 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備	372	22.3%
2	日常生活を支える国道や県道等の整備	677	40.5%
3	台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進	565	33.8%
4	南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備	369	22.1%
5	既存インフラの維持管理や老朽化対策	500	29.9%
6	公共交通機関の維持確保	409	24.5%
7	高速道路や空港、港湾等を活用した人流・物流対策	167	10.0%
8	新幹線の実現や空港の国際化	124	7.4%
9	その他	14	0.8%
	無回答	30	1.8%

問6 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	食料品や日用品などの確保	319	19.1%
2	地域での医療・介護の確保	717	42.9%
3	買い物や通院のための移手段の確保	769	46.0%
4	地域で収入を得ることができる産業づくり	529	31.7%
5	集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり	252	15.1%
6	移住促進等による地域活動などの担い手の確保	223	13.3%
7	地域での教育の拠点となる高等学校の確保	43	2.6%
8	鳥獣被害への対策	147	8.8%
9	スマートフォンやパソコン等で高速通信が可能となる情報基盤の整備	217	13.0%
10	その他	18	1.1%
	無回答	9	0.5%

問7 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成	355	21.2%
2	出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の創出	289	17.3%
3	安心して妊娠・出産できる環境の整備	481	28.8%
4	子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減	785	47.0%
5	子どもの預け先の確保など子育て支援サービスの充実	378	22.6%
6	家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進	116	6.9%
7	いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援	300	18.0%
8	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり	466	27.9%
9	その他	24	1.4%
	無回答	16	1.0%

「文化芸術とスポーツの振興」について、以下それぞれお伺いします。

問 8 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実	571	34.2%
2	文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実	792	47.4%
3	文化芸術活動を発表する機会の拡充	218	13.0%
4	高知固有の文化の継承や活用	573	34.3%
5	文化芸術活動を支える人材の育成	480	28.7%
6	文化芸術に関するイベント等の情報発信	328	19.6%
7	その他	30	1.8%
	無回答	29	1.7%

問 9 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり	998	59.7%
2	選手や指導者の育成による競技力の向上	570	34.1%
3	スポーツを通じた交流人口の拡大	473	28.3%
4	スポーツ施設・設備の充実	826	49.4%
5	その他	46	2.8%
	無回答	23	1.4%

改めて、5つの基本政策と3つの横断的にかかわる政策についてお伺いします。

問 10 県が行っている8つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	経済の活性化	1,001	59.9%
2	日本一の健康長寿県づくり	91	5.4%
3	教育の充実と子育て支援	521	31.2%
4	南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化	555	33.2%
5	インフラの充実と有効活用	243	14.5%
6	中山間対策の充実・強化	314	18.8%
7	少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大	417	25.0%
8	文化芸術とスポーツの振興	59	3.5%
	無回答	15	0.9%

2. 新型コロナウイルス感染症対策について

本県では、新型コロナウイルスの基本的な感染防止対策を引き続き徹底したうえで、社会経済活動を回復させる取り組みを進めてまいります。

問 12 新型コロナウイルス感染症やその影響について、不安に感じていることは何ですか。
(3つまで○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	自分や家族、知人の感染	1,087	65.1%
2	各店舗による感染防止対策の実施	92	5.5%
3	医療の提供体制	1,068	63.9%
4	外出や移動の制約	281	16.8%
5	外出や移動の自粛によるストレス・体調不良	371	22.2%
6	子どもの学業への影響	247	14.8%
7	景気悪化による収入の減少	505	30.2%
8	勤務先の人員削減や雇用の凍結、就職難	227	13.6%
9	県経済の衰退	481	28.8%
10	その他	50	3.0%
11	特に不安はない	34	2.0%
	無回答	2	0.1%

問 13 高知県における新型コロナウイルス感染症関連の情報で注目しているものは何ですか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	1日の新規感染者数	1,203	72.0%
2	新型コロナウイルス感染症の重症者数	643	38.5%
3	最大確保病床の占有率（医療提供体制のひっ迫状況）	837	50.1%
4	県の「感染症対応の目安」におけるステージ	390	23.3%
5	知事からのメッセージ	184	11.0%
6	会食時の注意点など、県から「県民・事業者の皆さま」に要請している内容	284	17.0%
7	個人向け・事業者向けの各種支援策	389	23.3%
8	ワクチンに関する情報	668	40.0%
9	その他	61	3.7%
10	注目している情報はない	54	3.2%
	無回答	6	0.4%

3. 南海トラフ地震対策について

高知県では「南海トラフ地震対策行動計画」を策定し、ハード・ソフトの両面から様々な対策を進めています。被害を軽減するためには、県民の皆さま一人ひとりの備えとしての「自助」の取り組みや、地域で支え合う「共助」の取り組みが重要です。

県民の皆さまのご協力のもと、「自助」、「共助」、「公助」が一体となった取り組みをしっかりと進めてまいります。

問 14 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	津波で浸水が予測される地域である	595	35.6%
2	津波で浸水が予測される地域ではない	913	54.6%
3	わからない	150	9.0%
	無回答	13	0.8%

副問 1 (問 14で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたがお自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(1つだけ○印)

(回答者数 595人)

	項目	回答数	回答比率
1	揺れがおさまった後、すぐに	393	66.1%
2	津波警報が出たら	91	15.3%
3	市町村から避難の呼びかけがあったら	56	9.4%
4	家族や周りの人が避難したら	20	3.4%
5	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	18	3.0%
6	避難しない	14	2.4%
	無回答	3	0.5%

問 15 あなたのお宅では、固定が必要な家具や家電などを固定していますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	固定している	296	17.7%
2	寝室(子ども部屋を含む)だけは固定している	106	6.3%
3	固定が必要な家具や家電などを居室内(寝室、子ども部屋など)に置いていない	292	17.5%
4	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	961	57.5%
	無回答	16	1.0%

問 16 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。備蓄には、日常的に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	98	5.9%
2	3日～6日分を備蓄している	481	28.8%
3	1日～2日分を備蓄している	510	30.5%
4	備蓄していない	571	34.2%
	無回答	11	0.7%

※ 災害時に飲料水として使用可能な井戸や地下水の取水・ろ過装置などをお持ちの方は、それらも備蓄に含めてご回答ください。

※ 1人1日3リットルの水が飲料用に必要であると言われています。

※ 県では3日分以上の備蓄を推奨しています。

副問1 (問16で「3」もしくは「4」を選んだ方のみお答えください。)

3日分以上の水の備蓄をしていないのはどのような理由からですか。

(最も当てはまるもの1つに○印)

(回答者数 1,081 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	必要性を感じていない	177	16.4%
2	手間がかかる	224	20.7%
3	費用がかかる	177	16.4%
4	置き場所がない	284	26.3%
5	その他	190	17.6%
	無回答	29	2.7%

問 17 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。備蓄には、日常的に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	95	5.7%
2	3日～6日分を備蓄している	612	36.6%
3	1日～2日分を備蓄している	501	30.0%
4	備蓄していない	449	26.9%
	無回答	14	0.8%

※ 「日常的に使用できる食品」とは、レトルト食品や乾麺、缶詰など、普段食べている賞味期限の長い食品をいいます。

※ 自給自足の生活をしているなど、災害時に食用となる作物などをお持ちの方は、それらも備蓄に含めてご回答ください。

※ 県では3日分以上の備蓄を推奨しています。

副問1 (問17で「3」もしくは「4」を選んだ方のみお答えください。)

3日以上の食料の備蓄をしていないのはどのような理由からですか。

(最も大きな理由に1つだけ○印)

(回答者数 950人)

	項目	回答数	回答比率
1	必要性を感じていない	151	15.9%
2	手間がかかる	216	22.7%
3	費用がかかる	221	23.3%
4	置き場所がない	216	22.7%
5	その他	124	13.1%
	無回答	22	2.3%

問18 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	残量が半分くらいになった時	512	30.6%
2	残量が4分の1程度になった時	633	37.9%
3	残量がほとんど無くなった時	363	21.7%
4	車を運転しないので給油する機会がない	149	8.9%
	無回答	14	0.8%

副問1 (問18で「1～3」のいずれかを選んだ方のみお答えください。)

普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,508人)

	項目	回答数	回答比率
1	満タンにする	1,220	80.9%
2	満タンにせずに、一定の量を入れる	68	4.5%
3	満タンにせずに、一定の金額分を入れる	212	14.1%
	無回答	8	0.5%

問19 過去1年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	305	18.3%
2	職場で行った訓練に参加した	375	22.4%
3	その他の訓練(学校などで児童・生徒やその家族を対象にした訓練など)に参加した	61	3.7%
4	参加していない	580	34.7%
5	訓練がなかった、またはあったかわからない	336	20.1%
	無回答	14	0.8%

問20 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。
(2つまで○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	503	30.1%
2	訓練の実施をもっと広報する	402	24.1%
3	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	395	23.6%
4	他のイベントと一緒にを行う	548	32.8%
5	参加を義務化する	353	21.1%
6	参加賞(非常食など)を出す	481	28.8%
7	その他	54	3.2%
	無回答	20	1.2%

問21 「南海トラフ地震臨時情報※」が発表されることについて、ご存じでしたか。
(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	知っている	420	25.1%
2	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	583	34.9%
3	知らない	661	39.6%
	無回答	7	0.4%

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報

※ 実際の地震の発生を知らせる「緊急地震速報」とは異なります

4. 消防団員について

- 消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして、平常時、非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心及び安全を守るという重要な役割を担っています。その公共性の高さから、消防団員の身分は非常勤で、特別職の地方公務員となります。
- 消防団員の標準的な年額報酬の額は 36,500 円（「団員」階級の者の場合）、標準的な出勤報酬の額は 1 日 8,000 円となります。
- 消防団は、消防の任務を遂行するために、月 1 回程度、消火訓練等を行っています。
- 消防団員が安心して消防防災活動を行えるよう、市町村は、消防団員等福祉共済に加入するなど、福利厚生の実に努めています。また、消防団員個人で加入できる消防個人年金事業、火災共済事業等の制度もあります。
- 消防団員の労苦に感謝し、功労に報いるため、国や地方公共団体、日本消防協会等による各種表彰制度があります。
- 消防団員が退職した場合は、退職報償金が支給されます。

問 22 お住まいの地域に消防団（市町村単位）や分団（地域単位）があることを知っていますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,671 人）

	項目	回答数	回答比率
1	知っている	1,316	78.8%
2	知らない	342	20.5%
	無回答	13	0.8%

問 23 お住まいの地域の消防団に入団し、活動に参加していますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,671 人）

	項目	回答数	回答比率
1	入団し、活動に積極的に参加している	30	1.8%
2	入団し、活動に時々参加している	15	0.9%
3	入団しているが、活動にあまり参加していない	12	0.7%
4	入団していない	1,596	95.5%
	無回答	18	1.1%

副問1 (問23で「1～3」を選んだ方のみお答えください。)

どのような媒体で団員募集の情報を知りましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 57人)

	項目	回答数	回答比率
1	消防本部の掲示板	3	5.3%
2	消防本部のホームページ	2	3.5%
3	市町村の掲示板	1	1.8%
4	市町村のホームページ	0	0.0%
5	友人、知人	50	87.7%
6	テレビ	0	0.0%
7	新聞	0	0.0%
8	その他	3	5.3%
	無回答	0	0.0%

副問2 (問23で「4」を選んだ方のみお答えください。)

消防団の活動に興味がありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,596人)

	項目	回答数	回答比率
1	興味がある	419	26.3%
2	興味がない	1,104	69.2%
	無回答	73	4.6%

問24 どのような条件があれば、消防団に入団したくなると思いますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,671人)

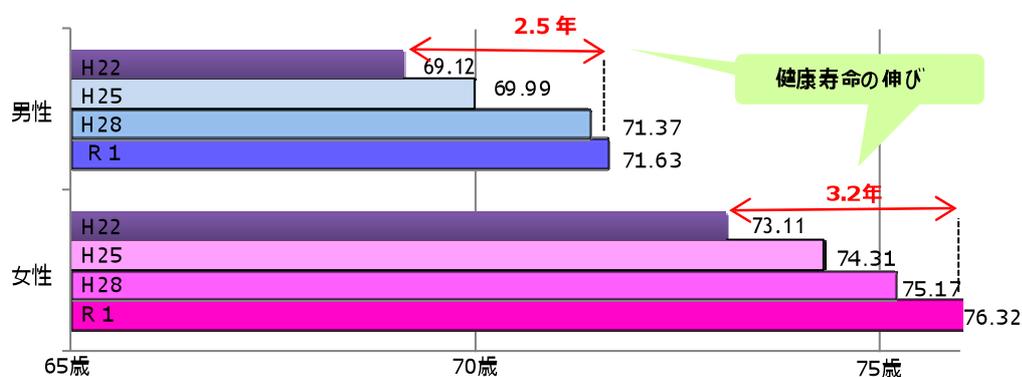
	項目	回答数	回答比率
1	消防団に知人がいること	438	26.2%
2	年額報酬や出動報酬が高いこと	550	32.9%
3	訓練が少ない又はきつくないこと	274	16.4%
4	福利厚生が充実していること	356	21.3%
5	本業の理解が得られること	789	47.2%
6	家族の理解が得られること	443	26.5%
	無回答	225	13.5%

5. 県民の健康づくりについて

高知県では、平成 22 年 2 月に「日本一の健康長寿県構想」を策定し、保健・医療・福祉の各分野の課題解決に真正面から取り組んできました。

令和 2 年 3 月には、これまでの取り組みを一層深化、発展させることを基本としながら、より数値目標を明確にすることに配慮して、第 4 期「日本一の健康長寿県構想」を策定し、『県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県』の実現に向けて全力で取り組みを進めています。

第 4 期構想の柱のひとつとして、『健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進』を設定しています。県民の皆さまの健康寿命を全国平均以上にまで延伸することを目標に掲げ、男性の健康寿命を平成 28 年の 71.37 歳から令和 5 年には 73.02 歳以上に、また、女性は 75.17 歳から 76.05 歳以上にすることを目指しています。



※ 健康寿命とは…介護などを受けずに健康的に社会生活が送れる期間。

問 25 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

(回答者数 1,671 人)

	項目	回答数	回答比率
1	ある	235	14.1%
2	ない	1,412	84.5%
	無回答	24	1.4%

副問 1 (問 25 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

それはどのようなことに影響がありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 235 人)

	項目	回答数	回答比率
1	日常生活動作 (起床、衣服脱着、食事、入浴など)	68	28.9%
2	外出 (時間や作業量などが制限される)	68	28.9%
3	仕事、家事、学業 (時間や作業量などが制限される)	122	51.9%
4	運動 (スポーツを含む)	75	31.9%
5	その他	29	12.3%
	無回答	0	0.0%

問 26 (20歳以上の方はお答えください。)

あなたは週に何日くらいお酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。
（1つだけ○印）

（回答者数 1,649人）

	項 目	回答数	回答比率
1	毎日	321	19.5%
2	週5～6日	102	6.2%
3	週3～4日	108	6.5%
4	週1～2日	155	9.4%
5	月1～3日	89	5.4%
6	ほとんど飲まない	338	20.5%
7	やめた	57	3.5%
8	飲まない（飲めない）	468	28.4%
	無回答	11	0.7%

副問 1 (問 26 で「1～5」を選んだ方のみお答えください。)

お酒を飲む日は1日あたり、どのくらいの量を飲みますか。
（清酒に換算し、1つだけ○印）

（回答者数 775人）

	項 目	回答数	回答比率
1	1合（180ml）未満	222	28.6%
2	1合以上2合（360ml）未満	287	37.0%
3	2合以上3合（540ml）未満	158	20.4%
4	3合以上4合（720ml）未満	61	7.9%
5	4合以上5合（900ml）未満	24	3.1%
6	5合（900ml）以上	21	2.7%
	無回答	2	0.3%

※ 清酒1合（アルコール度数15度・180ml）は、次の量にほぼ相当します。

ビール中瓶1本（同5度・500ml）、焼酎0.6合（同25度・約110ml）、ワイン1/4本（同14度・約180ml）、ウイスキーダブル1杯（同43度・60ml）、缶チューハイ15缶（同5度・約520ml）

問 27 (20歳以上の方はお答えください。)

あなたはたばこを吸いますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,649人）

	項 目	回答数	回答比率
1	毎日吸っている	268	16.3%
2	時々吸う日がある	17	1.0%
3	以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	154	9.3%
4	吸わない	1,201	72.8%
	無回答	9	0.5%

副問1 (問27で「1」もしくは「2」を選んだ方のみお答えください。)

1日に平均して何本くらい吸いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 285人)

	項目	回答数	回答比率
1	10本以下	89	31.2%
2	11～20本	154	54.0%
3	21～30本	32	11.2%
4	31本以上	8	2.8%
	無回答	2	0.7%

問28 あなたは日ごろ、健康のために次のような行動をしていますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている	883	52.8%
2	バランスのとれた食事をしている	574	34.4%
3	うす味のもの食べている	404	24.2%
4	食べ過ぎないようにしている	587	35.1%
5	適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている	626	37.5%
6	睡眠を十分にとっている	617	36.9%
7	たばこを吸わない	703	42.1%
8	お酒を飲み過ぎないようにしている	459	27.5%
9	ストレスをためないようにしている	423	25.3%
10	その他	27	1.6%
11	特に何もしていない	186	11.1%
	無回答	12	0.7%

6. オンライン診療について

本県の中山間地域には医療機関が少なく、通院に時間がかかったり訪問診療の効率が悪いといった課題があります。

そのため、県では、中山間地域におけるオンライン診療のニーズを把握した上で、地域の多様なニーズに即した効率的なサービス提供に取り組みます。

※ オンライン診療とは…スマートフォンやタブレットなどの情報通信機器を用いて、医師が患者とは別の場所にいながらインターネット上で患者の状態を把握し診察を行うもの

※ 令和2年度からは、医師が医学的に可能であると判断した範囲において、初診からオンライン診療により薬を処方することが可能となりました。

問 29 あなた自身やご家族が、今後医療機関を受診する際に、オンライン診療を利用しようと思いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	利用したい	604	36.1%
2	利用したくない	399	23.9%
3	既にオンライン診療を利用している	11	0.7%
4	わからない	632	37.8%
5	その他	19	1.1%
	無回答	6	0.4%

副問 1 (問 29 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたがオンライン診療を利用したいと思う理由は何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 604人)

	項目	回答数	回答比率
1	通院や受付、診察待ち、会計までの時間がかからない	543	89.9%
2	通院に必要な交通費がかからない	234	38.7%
3	自身の身体的な負担や家族の介添えの負担が軽減される	257	42.5%
4	新型コロナウイルスなどの院内感染のリスクが少ない	379	62.7%
5	その他	22	3.6%
6	特になし	0	0.0%
	無回答	1	0.2%

副問2 (問29で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたはどのような場所でオンライン診療を利用したいですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 604人)

	項目	回答数	回答比率
1	自宅	588	97.4%
2	職場	82	13.6%
3	公民館、集会所	33	5.5%
4	あったかふれあいセンター、集落活動センター	12	2.0%
5	わからない	2	0.3%
6	その他	1	0.2%
	無回答	7	1.2%

副問3 (問29で「2」を選んだ方のみお答えください。)

あなたがオンライン診療を利用したくないと思う理由は何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 399人)

	項目	回答数	回答比率
1	直接対面で医師に診察してほしい	313	78.4%
2	スマートフォンやタブレットなどが苦手	173	43.4%
3	通院よりも診察費用がかかりそう	22	5.5%
4	オンライン診療を行う医療機関が分からない	88	22.1%
5	オンライン診療を受けても、薬を直接取りに行かなければならないから	114	28.6%
6	その他	20	5.0%
	無回答	2	0.5%

7. ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」とは、本来、大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どもをいいます。

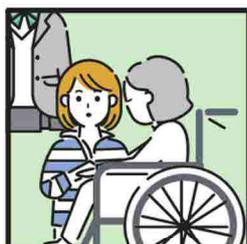
例えば、このような子どもたちをいいます。



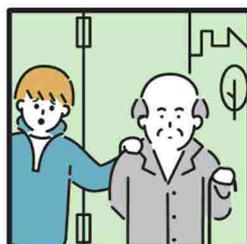
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしています。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラーの子どもたちは、家事や家族の世話が過度な負担となって、学業や健康、将来の進路に影響が出ることも心配されます。また、子どもからは声を上げにくく、中には、他人に知られたくないと思っている子どももいるなど、課題が表面化しづらい問題です。このため、周囲の大人が子どもの置かれている状況に気づき必要な支援につなぐことが大切です。ヤングケアラーの家族も、日々の生活で様々な悩みや困難を抱えていることがあり、社会の理解と支援が必要です。

問30 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	聞いたことがあります、内容も知っている	924	55.3%
2	聞いたことはあるが、よく知らない	394	23.6%
3	聞いたことがない	267	16.0%
	無回答	86	5.1%

問 31 「ヤングケアラー」と思われる子どもが身近（家族・親戚、地域など）にいますか。
（1つだけ○印）

（回答者数 1,671人）

	項 目	回答数	回答比率
1	いる	40	2.4%
2	いない	990	59.2%
3	わからない	623	37.3%
	無回答	18	1.1%

副問 1 （問 31 で「1」を選んだ方のみお答えください。）

その子どもをどこで知りましたか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 40人）

	項 目	回答数	回答比率
1	家族、親戚にいる	12	30.0%
2	自身の活動（ボランティア活動、町内会、民生委員等）の中で知った	2	5.0%
3	自分の仕事や所属（学校、職場等）の中で知った	19	47.5%
4	近隣住民であり、関わりを持つ中で知った	4	10.0%
5	友人・知人関係等のつながりの中で知った	4	10.0%
6	その他	2	5.0%
	無回答	0	0.0%

問 32 身近に「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、まずどこに相談しますか。
（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,671人）

	項 目	回答数	回答比率
1	家族、知人、友人	612	36.6%
2	市町村役場	666	39.9%
3	県の子どもに関する行政機関（児童相談所など）	513	30.7%
4	県の福祉・保健に関する行政機関（福祉保健所など）	409	24.5%
5	学校や教育委員会	301	18.0%
6	病院や介護事業所などの医療・介護関係機関	64	3.8%
7	民生委員・児童委員	366	21.9%
8	NPO や子ども食堂などの民間団体	40	2.4%
9	どこに相談すればよいか分からない	382	22.9%
10	どこにも相談しない	87	5.2%
11	その他	21	1.3%
	無回答	32	1.9%

副問 1 (問 32 で「10」を選んだ方のみお答えください。)

その理由としてもっともあてはまるものをお答えください。

(最も当てはまるもの 1 つに○印)

(回答者数 87 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	どのように相談したらよいかわからないため	22	25.3%
2	家庭の問題に関わることに抵抗感があるため	40	46.0%
3	家族が家族の世話をすることは当たり前であるため	8	9.2%
4	相談する余裕がないため	4	4.6%
5	その他	8	9.2%
	無回答	5	5.7%

問 33 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながるとお考えですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること	963	57.6%
2	学校に相談窓口があること	734	43.9%
3	自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	604	36.1%
4	民間団体(社会福祉協議会やNPO等)などに相談窓口があること	239	14.3%
5	対面での相談が可能であること	269	16.1%
6	電話・メール・SNSでの相談が可能であること	843	50.4%
7	24時間いつでも相談が可能であること	685	41.0%
8	相談する際の手順や判断基準がわかりやすいこと	676	40.5%
9	相談がどのような支援につながるかがわかりやすいこと	720	43.1%
10	その他	32	1.9%
11	特にあてはまるものはない	31	1.9%
	無回答	43	2.6%

8. 有機農業について

国においては脱炭素等を進めるための手段の一つとして、有機農業の面積拡大を推進しています。本県においても、化学肥料や化学合成農薬の低減等による環境負荷の軽減に配慮した持続可能な農業を目指し、2030年までに408haまで拡大する目標を設定しています。

問 34 有機農業、有機農産物に対するイメージはどのようなものですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	安全	1,016	60.8%
2	化学農薬や化学肥料を使用していない	777	46.5%
3	自然環境にやさしい	798	47.8%
4	味が良い	149	8.9%
5	栄養価が高い	118	7.1%
6	値段が高い	593	35.5%
7	形や大きさが不揃いである	182	10.9%
8	病虫害防除、除草などの作業に手間がかかる	475	28.4%
9	わからない	110	6.6%
10	その他	10	0.6%
	無回答	10	0.6%

問 35 有機農業、有機農産物に何を求めますか。(3つまで○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	安全	1,290	77.2%
2	味の良さ	556	33.3%
3	自然環境への配慮	706	42.3%
4	形や大きさなどの規格の揃い	31	1.9%
5	値段の安さ	754	45.1%
6	量販店等での豊富な販売数量・品揃え	533	31.9%
7	わからない	78	4.7%
8	その他	28	1.7%
	無回答	10	0.6%

問 36 有機農産物の購入頻度について

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	週1回程度購入している	311	18.6%
2	月1回程度購入している	343	20.5%
3	6ヶ月に1回程度購入している	112	6.7%
4	1年以上前に購入したことがある	104	6.2%
5	購入したことはない	546	32.7%
6	その他	220	13.2%
	無回答	35	2.1%

副問1 (問36で「3～5」を選んだ方のみお答えください。)

有機農産物の購入頻度が低い(購入したことがない)のはなぜですか。

(3つまで○印)

(回答者数 762人)

	項目	回答数	回答比率
1	値段が高いから	356	46.7%
2	販売している量販店が少ないから	411	53.9%
3	販売している種類が少ないから	209	27.4%
4	有機農産物に魅力を感じないから	97	12.7%
5	形や大きさが不揃いだから	12	1.6%
6	その他	105	13.8%
	無回答	17	2.2%

9. 森林環境税について



県では、県民みんなで森林環境を保全していくため、平成15年度から森林環境税として、県民と企業の皆様に年間500円のご負担をいただいています。

森林環境税の第4期（H30～R4）の主な成果 ※R4年度は見込み

間伐等の森林整備	森林を守るためのシカ捕獲	普及啓発
 <p>間伐後の森林</p>	 <p>シカの捕獲わな</p> 	 <p>情報誌「もりりん」</p>
5,765 ha (※)	10,102 頭 (※)	83,000 部×2回/年

また、令和元年度からは、森林整備を進めるため、国からの森林環境譲与税が市町村と県に配分されています。

この譲与税では、**県の森林環境税では実施できなかった「経営管理が行われていない森林」**の整備が進められています。

令和5年度からの考え方

高知県が全国に先駆けて創設した森林環境税（県税）は、他の自治体でも導入が進み、37府県で森林環境の保全等を目的に独自課税が行われています。

一方、令和元年からは森林環境譲与税（国税）もスタートし、森林整備がさらに進んでいますが、森林環境税（県税）とは目的や用途が異なるため、他府県では独自課税を継続しています。高知県でも、これまで森林環境税（県税）で実施してきた事業が滞ることがないように、他府県と同様に独自課税を継続する方向で考えています。

●森林環境税（県税）

主に**県が広域的に実施する森林環境保全のための事業**（小中学校などで取り組む森林環境学習や森林ボランティア等の活動への支援、県内各地で被害が発生しているシカ被害対策など、市町村を越えて実施するもの）に使用します。

●森林環境譲与税（国税）

【県の森林環境譲与税（国→県）】

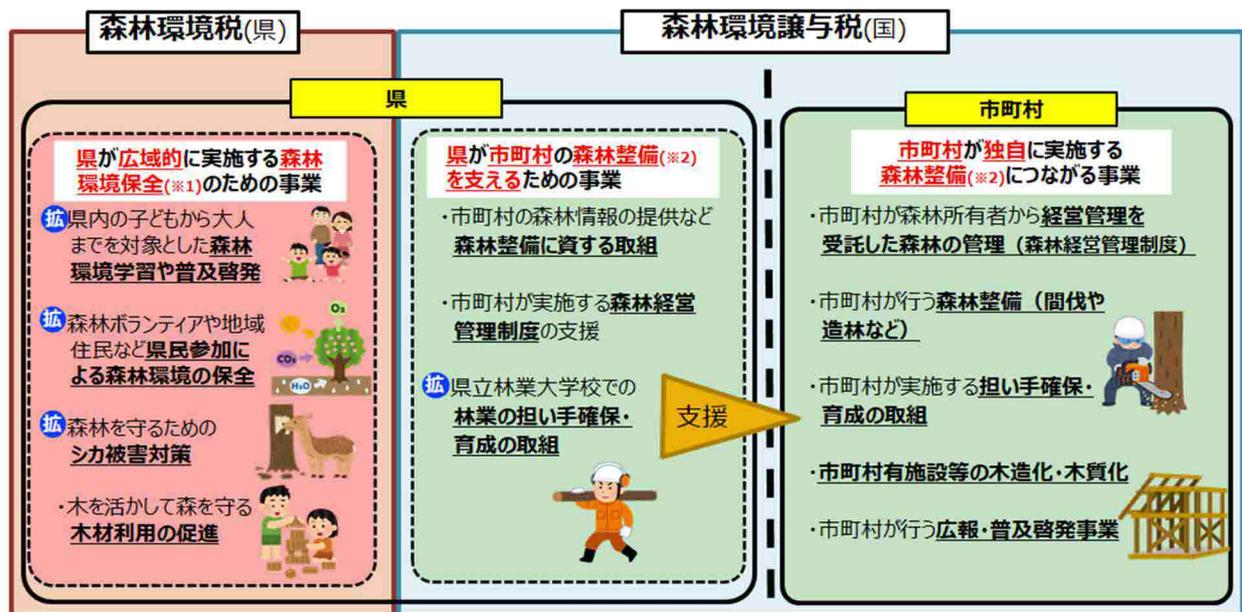
主に**市町村の森林整備を側面支援する事業**（間伐等の森林整備を加速するための森林情報の提供、担い手育成、伐採後の植林を進める仕組みづくりなど）に使用します。

【市町村の森林環境譲与税（国→市町村）】

各市町村の判断により幅広く活用可能ですが、大部分は間伐などの森林整備に使用されており、今後も増加する見込みです。

○県の森林環境税と国からの森林環境譲与税について、令和5年度からの考え方を整理すると図1になります。それぞれの税をフル活用して、森林保全・整備の取り組みを進めます。

(図1)



県では、森林環境保全(※1)と森林整備(※2)を次のとおり区分しています。

- (※1) 森林環境保全は、森林の有する公益的機能(水源かん養、国土保全など)の低下を予防するための取組を行うこと。
- (※2) 森林整備は、森林資源を充実させることを主な目的として行う間伐や植林などの森林施業。

こうした状況を踏まえ、これまで県民の皆さまにご負担いただいている森林環境税に関して、県民の皆さまのご意見をもとに、今後のあり方を考えていくこととしています。設問への回答により、ご意見をお聞かせください。

問 37 森林は本来、土壌に水を蓄え、山の崩壊を防止し、二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に役立つなどの「公益的機能」を持っていますが、近年、森林の手入れが行き届かないことにより、これらの機能の低下を招いています。森林が持つ働きについて、こうした状況を知っていますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項目	回答数	回答比率
1	よく知っていた	245	14.7%
2	だいたい知っていた	863	51.6%
3	あまり知らなかった	381	22.8%
4	全く知らなかった	121	7.2%
	無回答	61	3.7%

問 38 あなたは、県の森林環境税や国の森林環境譲与税について知っていましたか。
(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項 目	回答数	回答比率
1	どちらも知っていた	203	12.1%
2	県の森林環境税のみ知っていた	243	14.5%
3	国の森林環境譲与税のみ知っていた	33	2.0%
4	どちらも知らなかった (このアンケートではじめて知った)	1,180	70.6%
	無回答	12	0.7%

問 39 県の森林環境税は、1人 (または1法人) あたり 500円を徴収しており、その税収は年間約 1.7 億円です。県ではこれを財源として、第 4 期 (平成 30 年度～令和 4 年度) に、森林の公益的機能を高めるための間伐等 5,765ha (東京ドーム 1,233 個分)、森林被害を防ぐためのシカ捕獲 10,102 頭、小中学校での森林環境学習への参加 49,000 人超などの効果が出てきています。

このような森林環境税の使い道をご存じでしたか。(1つだけ○印)

※効果を現す数値は、令和 4 年度の計画数量を含む。

(回答者数 1,671人)

	項 目	回答数	回答比率
1	知っていた	94	5.6%
2	何となく知っていたが、詳細は知らなかった	364	21.8%
3	知らない	1,202	71.9%
	無回答	11	0.7%

問 40 県では、森林・林業に関わる様々な課題に対応するためには、県の森林環境税と国の森林環境譲与税との使い道を (図 1) のように整理し、2つの税を最大限活用することが必要と考えております。

令和 5 年度以降も県の森林環境税を継続 (5 年間) することについて、どのように考えますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671人)

	項 目	回答数	回答比率
1	賛成	725	43.4%
2	どちらかといえば賛成	772	46.2%
3	どちらかといえば反対	69	4.1%
4	反対	37	2.2%
5	別の考えがある	35	2.1%
	無回答	33	2.0%

問 41 森林の保全や整備のため、取り組むべき又は充実すべきだと考える事業はどれですか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	間伐などによる森林整備への支援	1,280	76.6%
2	地域住民等の組織による里山林の保全や利活用等の取組への支援	660	39.5%
3	シカによる被害から森林環境を守る対策への支援	646	38.7%
4	森林保全ボランティア団体などの活動への支援	553	33.1%
5	将来を担う子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援	764	45.7%
6	公共的な施設などへの木材利用の推進への支援	786	47.0%
7	森づくりへの理解と参加を促す広報や情報発信	546	32.7%
8	その他	62	3.7%
	無回答	31	1.9%

10. 地球温暖化対策について

県では、令和 32 年（2050 年）のカーボンニュートラル※の実現に向けて、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

令和 4 年 3 月に本県における「2050 年カーボンニュートラルの実現」と「経済と環境の好循環」の創出に向けた行動計画である「高知県脱炭素社会推進アクションプラン」を策定し、「令和 12 年度（2030 年度）に平成 25 年度（2013 年度）比で 47%以上温室効果ガスを削減すること」を目標に、県民運動として取り組んでいます。

※ カーボンニュートラルとは・・・二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、実質的な温室効果ガス排出量をゼロとすること。

（参考）パリ協定

- ・2015年12月に合意された、国際社会全体で温暖化対策を進めていくための国際的な枠組み。
- ・長期目標として、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて、2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすることを掲げている。

問 42 地球温暖化問題に対して、どの程度関心がありますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,671 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	非常に関心がある	664	39.7%
2	少し関心がある	829	49.6%
3	ほとんど関心がない	130	7.8%
4	全く関心がない	32	1.9%
	無回答	16	1.0%

問 43 地球温暖化対策について、次の中であなたが既に取り組んでいるものはありますか。

(当てはまるものすべてに○印)

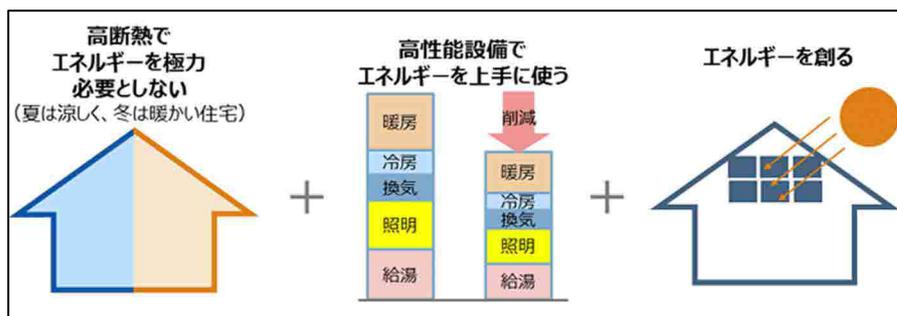
問 44 地球温暖化対策について、次の中で、あなたがまだ取り組んでいないが、今後取り組んでいきたいと思うものはありますか。

(当てはまるものすべてに○印)

		問 43	問 44
(回答者数 1,671 人)			
1 何もしていない(しない)	回答数	131	90
	回答比率	7.8%	5.4%
2 エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしているほか、利用時間をできるだけ短くする	回答数	676	234
	回答比率	40.5%	14.0%
3 テレビの視聴時間を少なくする	回答数	382	308
	回答比率	22.9%	18.4%
4 冷蔵庫に物を詰めこみすぎないようにするほか、ドアを開けたらすぐ閉めるようにする	回答数	821	268
	回答比率	49.1%	16.0%
5 無駄な電気をきったり、こまめに消灯するようにする	回答数	1,189	244
	回答比率	71.2%	14.6%
6 エコバッグでの買い物を心がける	回答数	1,259	181
	回答比率	75.3%	10.8%
7 通勤・通学は、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	回答数	263	140
	回答比率	15.7%	8.4%
8 家電製品の買い替え時には省エネ性能が高いものに買い替える	回答数	750	484
	回答比率	44.9%	29.0%
9 照明をLEDに替える	回答数	943	387
	回答比率	56.4%	23.2%
10 従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備(エコジョーズ、エコキュート等)を設置する	回答数	482	223
	回答比率	28.8%	13.3%
11 ガスを利用して発電し、その際に発生する排熱を給湯などに利用できるシステム(エネファーム等)を設置する	回答数	22	119
	回答比率	1.3%	7.1%
12 太陽光発電システムを設置する	回答数	198	246
	回答比率	11.8%	14.7%
13 家庭用蓄電池を設置する	回答数	44	334
	回答比率	2.6%	20.0%
14 低燃費車(ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車 ^{※1})を使用している	回答数	316	401
	回答比率	18.9%	24.0%
15 自宅を省エネ住宅(ZEH ^{※2} 等)にする(リフォームを含む)	回答数	51	182
	回答比率	3.1%	10.9%
16 多少の価格差ならより環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する	回答数	386	410
	回答比率	23.1%	24.5%
17 その他	回答数	9	10
	回答比率	0.5%	0.6%
18 無回答	回答数	36	211
	回答比率	2.2%	12.6%

※1 水素と酸素の化学反応で発電し、走行時に二酸化炭素を排出しない自動車のこと。

※2 1年間の消費エネルギーより住宅でつくったエネルギー(太陽光発電等)のほうが多い、または差がゼロになる住宅のこと。



出展：経済産業省 資源エネルギー庁
省エネポータルサイト



問 45 地球温暖化問題について、次のことを知っていましたか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	パリ協定では、世界の年平均気温の上昇を産業革命以前に比べ2℃以内に抑えるという長期目標を掲げているが、令和2年度(2020年度)の世界の平均気温は、産業革命以前に比べ既に約1.2℃上昇している(世界気象機関発表より)	589	35.2%
2	「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の「1.5℃特別報告書」によると、パリ協定の努力目標の1.5℃を大きく超えないようにするには、世界全体で令和32年(2050年)頃までにカーボンニュートラルにする必要がある	150	9.0%
3	「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」によると、人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。(第6次評価報告書 第1作業部会報告書より)	298	17.8%
4	日本は令和32年(2050年)のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいる	400	23.9%
5	高知県は、令和32年(2050年)のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいる	183	11.0%
	無回答	684	40.9%

問 46 今後、温室効果ガスの排出を削減していくために、県が力を入れるべき施策は何だと考えますか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,671 人）

	項目	回答数	回答比率
1	省エネ住宅（ZEH等）や電気自動車等に対する補助・減税の充実	654	39.1%
2	電気自動車の充電スタンドの設置拡大	644	38.5%
3	燃料電池車の普及に向けた取組	288	17.2%
4	再生可能エネルギー（太陽光発電、水力発電、風力発電、バイオマス発電等）の普及拡大に向けた支援の強化	735	44.0%
5	公共施設への太陽光発電パネルの設置	603	36.1%
6	環境への負荷の少ない製品やサービスの開発・普及に向けた支援の強化	434	26.0%
7	コンパクトでエネルギー消費の少ないまちづくり（公共交通の充実、自転車専用道の整備等）の推進	335	20.0%
8	温室効果ガスを吸収する森林の間伐や再造林による整備の強化	675	40.4%
9	CLT ^{※1} の普及や住宅や建築物への県産材の活用など木材利用の推進	309	18.5%
10	地球温暖化問題に関するシンポジウム、イベント、SNSなどの媒体を活用した啓発の強化	145	8.7%
11	LEDの導入などの、家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発の強化	631	37.8%
12	教育現場での地球温暖化教育の充実・強化	500	29.9%
13	温室効果ガス削減に取り組む動機付けとなる仕組み（地域通貨・ポイント制度など）の導入	225	13.5%
14	新たな産業の芽となる可能性を持つプロジェクトの創出・推進（化石燃料に頼らないグリーンLPガス ^{※2} の技術開発やプラスチック代替素材の活用など）	408	24.4%
15	その他	46	2.8%
	無回答	78	4.7%

※1 CLT(Cross Laminated Timber：直交集成板)は、欧州で開発された工法であり、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことを呼びます。



出展：一般社団法人日本CLT協会
CLTポータルサイト



高知県では、林業・木材産業の成長産業化及び木材需要の拡大を通じて地方創生を実現するため、CLTを活用した木造建築の推進しています。

【参考パンフレット】



※2 グリーンLPガスとは、森林資源や海藻等のバイオマスから生産するグリーンなLPガスであり、現在、大学、国やLPガス元売り事業者等による産学官連携により、生産技術開発と活用に向けた取り組み等を進めています。



高知県でも令和4年5月に「高知県グリーンLPガスプロジェクト推進会議」を設立し、取り組みを支援しています。

【概要】



【食品ロス削減について】

県では、令和4年3月に「高知県食品ロス削減推進計画」を策定しました。

本県における食品ロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）発生量は年間約2万1千トンと推測（令和元～2年度）され、県民一人が毎日83g（お茶碗1/2杯のご飯）を捨てている計算になります。

食品ロスは地球温暖化とも密接に関係していることから、食品ロス削減のために県民や事業者が「自分事」として捉え、実際に削減に向けて「行動」することが重要です。

問47 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。

（当てはまるもの1つに○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	よく知っている	715	42.8%
2	ある程度知っている	827	49.5%
3	あまり知らない	100	6.0%
4	まったく知らない	15	0.9%
	無回答	14	0.8%

問48 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,671人）

	項目	回答数	回答比率
1	料理を作り過ぎない	755	45.2%
2	残さずに食べる	1,162	69.5%
3	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	467	27.9%
4	冷凍保存を活用する	1,027	61.5%
5	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	557	33.3%
6	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	1,097	65.6%
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	511	30.6%
8	商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する	244	14.6%
9	期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ	642	38.4%
10	飲食店等で注文し過ぎない	472	28.2%
11	外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	90	5.4%
12	食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄附をする	34	2.0%
13	その他	16	1.0%
14	取り組んでいることはない	42	2.5%
	無回答	16	1.0%

11. LCC (Low Cost Carrier) 路線の利用促進について

本県では、県民の社会経済活動を支える公共交通である航空路線の維持・拡大に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、航空路線におけるビジネス需要は減少し、今後、従前までは回復しないと見込まれております。

航空需要の構造が変化する中、今後、LCC 路線は、航空運賃の安さから新たな観光需要を誘発し、利用の拡大が見込まれていることから、LCC 路線の利用状況や需要についてお伺いします。

問 49 航空運賃の安いLCC (Low Cost Carrier) を知っていますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,671 人)

	項目	回答数	回答比率
1	知っており、これまで利用したことがある	193	11.5%
2	知っているが、利用したことはない	901	53.9%
3	聞いたことはあるが詳しくは知らない	238	14.2%
4	知らない	323	19.3%
	無回答	16	1.0%

副問 1 (問 49 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

これまでどの路線を利用したことがありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 193 人)

	項目	回答数	回答比率
1	高知-成田線を利用したことがある	79	40.9%
2	高知-関西線(無期限運休中)を利用したことがある	56	29.0%
3	その他路線を利用したことがある	89	46.1%
	無回答	5	2.6%

問 50 私用で関東方面を訪れる際に、高知-成田線(LCC)の航空運賃が4,990円(最低運賃)、便数が1日1往復(15:05 高知発→16:35 成田着、12:45 成田発→14:25 高知着)の時、高知-成田線を利用したいですか。その他の経路を利用したいですか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,671 人)

	項目	回答数	回答比率
1	高知-成田線(LCC)を往復とも利用	449	26.9%
2	高知-成田線(LCC)を片道だけ利用	85	5.1%
3	高知-羽田線を利用	449	26.9%
4	鉄道を利用	48	2.9%
5	高速バスを利用	75	4.5%
6	その他	49	2.9%
7	分からない	469	28.1%
	無回答	47	2.8%

副問 1 (問 50 で「3～6」を選んだ方のみお答えください。)

高知-成田線 (LCC) を利用しない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 621 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	便数が少ない	305	49.1%
2	ダイヤが悪い	231	37.2%
3	成田空港から目的地まで遠い	350	56.4%
4	LCC の利用が不安	96	15.5%
5	航空券の購入方法が分からない	45	7.2%
6	航空運賃が高い	13	2.1%
7	飛行機を利用したくない	57	9.2%
8	その他	35	5.6%
	無回答	23	3.7%

問 51 新型コロナウイルス感染症の収束などにより、自由に国内外の移動ができるようになった場合、LCC の増便・就航を希望しますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,671 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	高知-成田線の増便を希望する	579	34.6%
2	高知-関西線の就航を希望する	592	35.4%
3	希望しない	674	40.3%
	無回答	110	6.6%

副問 1 (問 51 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

高知-成田線 (LCC) が 1 日 2 便に増便された場合、利用頻度は増える予定ですか。

(1 つだけ○印)

(回答者数 579 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	年 1 往復 (または片道 1～3 回) 程度増やしたい	275	47.5%
2	年 2～3 往復 (または片道 4～7 回) 程度増やしたい	98	16.9%
3	年 4～5 往復 (または片道 8～11 回) 程度増やしたい	15	2.6%
4	年 6 往復 (または片道 12 回) 以上増やしたい	14	2.4%
5	増える予定はない	162	28.0%
	無回答	15	2.6%

副問 2 (問 51 で「2」を選んだ方のみお答えください。)

高知-関西線 (LCC) が就航した場合、どの程度利用したいですか。(1 つだけ○印)

(回答者数 592 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	年 1 往復 (または片道 1～3 回) 程度利用したい	240	40.5%
2	年 2～3 往復 (または片道 4～7 回) 程度利用したい	165	27.9%
3	年 4～5 往復 (または片道 8～11 回) 程度利用したい	21	3.5%
4	年 6 往復 (または片道 12 回) 以上利用したい	18	3.0%
5	増える予定はない	102	17.2%
	無回答	46	7.8%

副問3 (問51で「1」もしくは「2」、または両方を選んだ方のみお答えください。)

どのような機会にLCCを利用したいですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 887人)

	項目	回答数	回答比率
1	仕事	134	15.1%
2	観光・レジャー	645	72.7%
3	家族・友人・知人訪問	405	45.7%
4	その他	11	1.2%
	無回答	73	8.2%